徳島新聞　２０２１年（令和３年）９月２１日　火曜日（２１）スポーツ掲載
徳島新聞社提供

県高校野球
秋季大会
第３日

高校野球の第74回徳島県秋季大会第３日は20日、鳴門オロナミンＣ球場とＪＡアグリあなんスタジアムで１回戦２試合と２回戦２試合が行われた。２回戦では、第１シードの鳴門が11―０の五回コールドで城東に、城南は５―０で第２シードの生光学園に勝ち、ともにベスト８入りした。１回戦では、鳴門渦潮が８―４で小松島西を破り、吉野川が９―７でつるぎに打ち勝った。大会第４日の23日は両球場で２回戦４試合が行われる。

（山口隆弘、木村恭明）

第3日の成績

▽1回戦
吉野川 9―7 つるぎ
鳴門渦潮 8―4 小松島西
▽2回戦
鳴門 11―0 城東
城南 5―0 生光学園

城南 中盤均衡破る

生光学園打線つながらず

生光学園対城南 6回表、城南2死満塁、西川珠が中越え二塁打を放ち3―0とする＝JAアグリあなんスタジアム

◇JAアグリあなんスタジアム
▽2回戦（第2試合）

城南	000003200	5
生光学園	000000000	0

【評】中盤に均衡を破った城南が快勝した。0―0で迎えた六回、炭谷の左前打と野選、四球で2死満塁とすると、西川珠が走者一掃の中越え二塁打を放ち3点先制。七回には押し出しの四球などで2点を追加した。右腕木内は制球良く打たせて取り、4安打に抑えて完封した。生光学園は打線がつながりを欠いた。

甘い球振り抜く

○…五回まで走者を出せなかった城南は六回、初安打が出て2死満塁の好機をつかんだ。打席に立った西川珠は「生光学園の奥濱投手は走者を出してから球が上ずっていたので、甘い球を積極的に狙った」。外角高めの直球を振り抜いた打球は中堅手の頭を越える先制の3点二塁打となり「木内の好投に応えられて良かった」と笑った。

右腕木内は130㌔台前半の直球とスライダー、シンカーなどの多彩な変化球を投げ分け、109球で完封。連日100球程度投げ込み、スタミナをつけてきたといい「最後まで踏ん張れた。味方の攻撃を信じ、絶対に先に点をやらないと思って投げた」と振り返った。

	【城南】	打	安	点
⑧	大村	4	0	0
⑨	西川壮	4	0	0
⑦	西川珠	4	1	3
②	大西	4	0	0
③	坂東	4	1	0
⑥	神戸	3	0	0
⑤	炭谷	4	2	0
①	木内	2	1	1
④	川丘	2	0	0

振球犠併残……
9 2 4 1 5 31 5 4

	【生光学園】	打	安	点
⑥	渡邊	4	0	0
④	山城	2	0	0
H	上田	1	0	0
⑦	安藝	4	0	0
③	奥村	4	1	0
R	北條	0	0	0
⑤	岸本	3	1	0
①	奥濱	4	1	0
⑧	野村	3	0	0
⑨	富田	3	1	0
②	日下	1	0	0

振球犠併残……
4 1 3 0 6 29 4 0

▽三塁打＝岸本▽二塁打＝西川珠▽失策＝城2、生2▽試合時間＝2時間6分

投手	回	打	安	責
木内	9	33	4	0
奥濱	9	37	5	4